

東彼杵町
第6次東彼杵町総合計画策定に係る
関係団体調査
結果報告書

令和5年3月
東彼杵町

目 次

I	団体ヒアリング調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
II	団体ヒアリング調査結果	2
◎	貴団体の活動状況について	2
◎	東彼杵町のまちづくりについて	23

I 団体ヒアリング調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第6次東彼杵町総合計画」の策定にあたり、町内の主な関係団体の皆様を対象に、今後の東彼杵町のまちづくりに関するご意見を伺い、計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	関係団体調査
調査対象者	町内の関係団体
調査方法	調査票への本人記入方式または WEB フォームへの本人回答方式

II 団体ヒアリング調査結果

◎ 貴団体の活動状況について

1. 貴団体についてご記入ください。

※団体名のため掲載しない

2. 貴団体の活動方針や、主な活動内容・事業等についてご記入ください。また、その参考資料等がありましたら添付をお願いします。※事業計画等の添付にて省略可

記述内容
役場と地区、町民を結ぶパイプ役を担い、行政上必要な事務について地区住民との連絡調整を行う
地域商社、起業創業支援、地域人材育成事業
自治会活動
当会の活動目的：東彼杵町における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。 主な活動・事業：介護保険事業（通所介護・居宅介護）、法人運営事業、在宅福祉活動、ボランティアセンター事業、相談事業、福祉団体支援活動、各種募金活動、町内小中学校支援活動、各種資金貸付事業、福祉センター管理運営事業、受託事業（日常生活自立支援事業・食の自立支援事業・生活支援体制整備事業）
元旦に元旦祝賀会を開催。4月初めに自治会総会及び花見を開催。年に3回、主に各班長にて番神山参拝。町の開催に併せ空き缶回収、一斉清掃を行う。年に3回、町道・河川の除草作業を行う。9月には敬老祝賀会を開催する。なお、コロナ禍により集会等はほとんど開催できていない。
日本バレーボール協会の規定に従い、バレーボールの楽しさや体を動かす楽しさを学ぶ事。
「認定こども園つばさ」は幼保連携型認定こども園です。これは幼稚園と保育園を合わせたような施設で、保護者の就労形態に関係なく、0歳から就学前の子どもの教育保育を行い、地域の子育て支援を提供します。小学校就学までの幼少期は、周囲のお友達や大人、環境との関わりを通じ、毎日が成長の連続です。その大切な時期のお子様をお預かりする本園では、以下の二つを理念としています。 ・楽しく学び自ら伸びる子ども ・子どもと共に喜び共に育つ園 これから長い人生を歩んでいく子ども達には、自ら考え、自分で成長していける力を身に付けてほしいと考えています。併せて、就園前の乳幼児・保護者への支援をする「子育て支援つばさ」と、小学校進学後の子ども達が、放課後安全に過ごすための「学童保育わくわくはうす」を運営し、乳児から小学校の子を持つご家庭に対し、切れ目のない支援を提供しています。

記述内容
別紙参照
子どもたちが過ごしやすい環境を作るために先生達と活動している
踊りを通して日本の文化を若い世代に伝える
町内の野球人口拡大、後進の育成
資料添付
<p>(1)活動方針</p> <p>少子高齢化というこの厳しい現状を踏まえ、区民一人一人が自主積極的に行動し、助け合う地域社会を作る。</p> <p>(2)主な活動内容等</p> <p>ア. 生活環境の維持改善のため、清掃・消毒作業・草刈等を持続的に実施</p> <p>イ. 特に高齢者の健康維持促進のため「イキイキ百歳体操」を毎週月曜日に実施</p> <p>ウ. グラウンド・ゴルフメンバーにより毎週火・木・土日、練習を実施。また、西宿グラウンド大会を実施して融和団結を図った。</p> <p>エ. 老人会メンバーを中心として慰安旅行・忘年会を実施</p>
<p>現在は、東彼杵町（彼杵小・千綿小地区）内の部員で活動するドッジボールクラブ。定例練習は、彼杵小体育館・児童体育館を利用し火・金 19:00～21:00、不定期で土 13～16 に行っている J1 に所属し、県内強豪チームと主催持ち回りで、年間通じ、リーグ戦を行ったり、KTN 杯、県選手権リーグ（年 2 回）県内主催の大会に参加している。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 集会にての伝達、意見交換他 2. 公園、町道の草払いや清掃（年 3 回） 3. 毎年、元日に社日様（氏神様）一斉お参り（たき火を囲む） 4. 春・秋の社日様祭りでの飲食交流（春・花見・秋・敬老会兼ねる） 5. 子供会参加の集落センター清掃や空き缶、空き瓶の回収（年 2 回） 6. その他必要に応じて 7. 事業計画 赤木農村公園の環境整備予定
<p>自治会集会(4/23・6/20・9/21・11/5・12/19・R5 3/18 予定)</p> <p>4/10・午前中 町道管理作業・午後 郷花見</p> <p>7/3・町道草払い</p> <p>7/24・煙霧消毒</p> <p>8/7・町民一斉清掃・町政懇談会</p> <p>9/4・町道草払い</p> <p>9/18・敬老会（記念品・弁当等配布）</p> <p>9/25・大野原防火帯焼き</p> <p>10/18・観音様まつり（秋まつり）</p>

記述内容
<p>11/20・・・町道さわり木伐採と清掃 12/24・・・みどり集会所清掃</p>
<p>子供から高齢者の方々を取り入れたスポーツ大会等を開催したいなと思っていますが？まだこれといった事が浮かばないのですが、一つあげれば、ゲートボール大会グラウンドゴルフ大会等にはなると思っています。まずは会員さん達とも話を出して検討したいなと思っています。</p>
<p>日頃からの当部会への理解ご支援に対して大変感謝申し上げます。私が支部長に就任して以来、町と当部会との接点がなく、心から残念に感じていました。そこで私が取組んできたのは、町長表敬を行う東彼杵町産のイチゴが現在、いかにすばらしく全国の市場から高い評価を頂いているという事実を行政を通じて町民の皆様にも認知してほしいということでしたし、当部会の考えや問題について行政の皆様との意見交換、これが不足していると感じたからです。その中で町長様より町内産のイチゴを学校給食へ提供して欲しいとのご要望があり、その年より新一年生の入学の時期に毎年、食育の一環として実行しています。さらに、対話を通じてあらゆる事業に対しても、補助を充実して下さい。</p>
<p>自治会で取組んでいる内容は、公民館の清掃や町道の草払い、県道沿いの花壇の整備等の作業活動が主である。コロナ禍で特段、自治会で事業は行っていない。コロナ前までは数年続けて「ほたる祭り」を行っていた。</p>
<p>活動の基本方針は全国老人会連合会の三大運動「健康、友愛、奉仕」を踏まえて計画する。単位老人会の事業計画、決算、事業報告を提出させ補助金支出の資料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康作り事業、介護予防支援事業 コスモス大学への参加、奨励。単位老人会から5人を上限として参加助成金を支出。町、郡のGB、GG競技への参加奨励。 ・地域支え合い事業 見守り隊、声かけ運動の奨励（単位老人会では地区民生児童委員と協力して、週一回のペースで訪問し声かけして町連合会で報告。 ・若手高齢者の組織化 会員の増員と役員による若手高齢者の入会を奨励し、活性化を図る。その為に加入年齢を60歳代まで引き下げる。（一部老人会では実施済み） ・県、市町村連合会との支援体制及び強化事業 県老連会・老人クラブ大会参加（役員全員）町老連会長会（年6回）、他に緊急会長会を随時開催。 ・活動促進事業 町連合会定期総会出席、郡連総会参加。学童の交通安全、登下校支援、老人の日・奉仕活動の奨励、地域小学校児童との交流会実施（昔遊び、手作り遊び道具作り等を児童とともに実施）
<p>町民の生きがい作り、特に老人の方々が健康であるための野菜作り、毎日体を動かすことで健康</p>

記述内容
<p>を維持する。野菜等を出品しに来て出品者同士の会話、囲戸端会議いろんな人とはなしをすることにより元気なる。出品することにより収入が得られ豊かな生活ができる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい祭り（年1回開催、現在コロナで休止） ・浮立干籠奉納 ・祇園祭浮立参加（現在コロナで休止）
<p>本町地区の環境・美化・整備に心がけ、安心して住みやすい地域社会の維持に努めるとともに、住民の相互理解・融和を図り共同生活の積極推進を進める。また、伝統芸能の継承及び地域活性化活動の積極推進を図る。</p>
<p>スポーツクラブひがしそのぎの目的は「スポーツや文化活動を通じて、健康で生きがいのある豊かな生活の実現に努めるとともに、地域の交流の輪を広げ、次の世代につながる町づくりに貢献する」とあります。より多くの人たちにスポーツや文化活動に気軽に親しんでもらい、町内のスポーツ・文化人口を増やしていこうという意味も含んでいます。</p> <p>三味線の活動内容・・・月2回の練習（指導者が不在のため皆で協力して練習しています）現在男性4名・女性8名</p> <p>事業・・・文化協会主催のふるさと芸能大会出演（コロナ禍により3年間中止）</p> <p>施設訪問（町内デイサービス、グループホーム、イキイキサロン、大村市や佐賀県などへの訪問）</p> <p>他の団体とのコラボも実施中</p>
<p>毎月第1、3金曜日 10:15～11:45</p> <p>音楽室にてオカリナの練習をしています。</p> <p>オカリナを通して音楽を楽しむことをモットーにしています。</p>
<p>4月 自治会総会</p> <p>6月 空き缶拾い（第1日曜日）</p> <p>7月 町道・公園清掃</p> <p>9月 グラウンドゴルフ大会</p> <p>元日 初集会</p> <p>3月 年度末総会</p>
<p>1月16日 山神祭</p> <p>3月か4月 花見</p> <p>5月 作願立て・たきとう</p> <p>6月 町道草払い</p> <p>9月20日 彼岸祭・町道草払い</p> <p>11月16日 山神祭</p> <p>毎月1日・15日 観音様、公民館掃除</p>
<p>川の草刈り、清掃</p>

記述内容
町民バドミントン大会 協会杯バドミントン大会 ABC 杯バドミントン大会 セブンイレブン杯バドミントン大会
4月 総会・組長会 6月 除草作業（コミセン清掃） 8月 ふれあい祭り・ボランティア活動 9月 除草作業（敬老会・コミセン清掃） 11月 大神宮大祭（コミセン清掃） 1月 郷山 3月 （コミセン清掃）
<p>相撲甚句は楽器や楽譜はありません。拍子木1つで何人でも歌え、歌ってよし、聞いてよし、作ってよしです。多くの人に参加していただきたいと思っています。昨年は1回ですが、12月6日に東宿のいきいきサロンで三味線との共演をさせていただきました。機会があれば多くの人に聞いて頂きたいと思っております。令和5年度は月2回愛好会の会員と希望者の方があれば一緒に練習を行いたいと計画しております。</p>
混声合唱団であり、町芸能大会や東彼合唱祭また福祉施設等へのボランティア演奏など
研修室 毎週水曜日午後13時～15時まで毎月送付される手本で学習し、月末本部へ送付する
活動方針：住民参加型の共同活動を行う事により良好な地域社会の維持、形成に資する事を目的とする 活動内容：資料添付
郡内中学生大会（6～7回）審判員（1回に1～2名）務める （資料添付）
<p>スポーツクラブひがしそのぎの規約の第2条（目的）に沿って陸上クラブも活動しています</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：毎週月・水、18:00～19:00 ・場所：シーサイド公園グラウンド ・対象：子ども～大人 <p>〈目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い会場で走ってみませんか。走りの基本から親切に指導します ・毎週の練習内容については、指導者さんが細部に渡って工夫され、計画されて、協力して行っています ・現在の会員数は40名程度で、毎回の参加者は20数名です。小学生がほとんどで大人は数名です

記述内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 滝川さんの労苦で現在県登録者が 10 数名いて、各種大会に出場し、いつも数名は出ます ・ 日常の練習に向けての保護者の送迎も熱心に行っています。また、各種大会時も応援に来てもらいます。時には大会役員も受けてもらい助かっています
県特産のハウスびわを全国の消費者に出荷
令和 5 年度 県央みかん部会生産・販売対策 添付
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物産展の定期開催 ・ 地域経済活性化事業への協力 ・ 東彼杵町産品の宣伝、斡旋及び販路の拡張に関すること

3. 貴団体の活動について課題だと感じていることや困っていることを教えてください。

記述内容
地区住民の高齢化に伴い、役員の成り手不足
まさに、論語と算盤ですが、地域活動でも雇用が生まれる活動をとの思いばかりが強く、実情、運営資金はギリギリなので職員一人一人の負担が大きいので、体制を見直したり仕組みや運営資金を生み出していけるよう精進したいと思っています。
役員のなり手がいない、老人会の会員が里郷世帯数に迫る勢いで増加中。
介護保険事業において慢性的な人材の不足が生じている。また、求人を行ってもなかなか良い応募がない。
当地区でも少子高齢化が徐々に進んでいる。現在はまだ何とか共同作業ができていますが、将来的には少しずつ厳しくなっていくと思われまます。また、空き家が少しずつ増えてきた。コロナ禍で集会や花見等の一堂に会する機会はほとんどなくなり、人と人とのつながりが若干希薄になってきたと感じられる。
低学年からの入部が少ない
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み、子どもの数が減少していること。また、それが回復する見通しが立たないこと。 ・これまでの待遇の低さや、職場の環境の悪さから保育者の絶対数が少なく、優秀な保育教諭の確保が難しいこと。 ・制度の変更で平成 21 年より、幼稚園、保育園が合併して認定こども園となったが、0～3 歳と 4, 5 歳で園舎が別のため、学年を超えた交流がしにくく、職員配置も無駄が出ること。
<p>事業主の高齢化は大きな課題であり、加えてコロナ禍で低迷し続けてきた売上や客数が回復途上にある中で物価高騰の波が押し寄せ、価格転嫁がままならないまま、高コスト状態と賃上げの世相にさらされており、事業所の今後の経営存続自体が危ぶまれております。</p> <p>また、当団体の青年部がそのぎ茶市や花火大会といったイベント運営の中心となっていますが、合併当初と比較すると 3 割以上部員数が減少しており、30 歳未満の部員はおりません。実動で動いている主力が 15 人いますが、青年部は 45 歳までであり、6～7 年後には部員が卒業して半減することが予想されます。</p>
特になし
新しい会員が思うように増えない
学生野球との連携
どこの地区も一緒ですが、高齢者が多くなり、除草作業等の共同作業に人数が不足。
人口減少や高齢化により町が実施している各種イベント・スポーツ等に参加できるメンバーが組めない。また、地区役員等を積極的に引き受けてくれる人材が不足。
部員募集や、練習試合の指導員、審判員取得に関わる費用、更新費の負担、又、年間リーグ時主催時の児童体育館利用が不可であること。（児童体育館の劣化、使い勝手の悪さにより他チームからの利用拒否）

記述内容
大きな目標を持っての制作や、活動ができず（発表できる催しや、場が少なく）子ども達には、漠然とした活動しか行うことができなかつた。
イ. 敬老行事が高齢者の施設入所者が多く、参加人数に限られる ロ. 地区への新規転入者の情報が町からも全くなかつ転入者からもない ハ. 独居老人が総数 42 世帯（自治会員以外も含む）の内 8 世帯
郷の作業やスポーツ関係に対しても若い人がいない。子どもが少ないので、もう 5 年後は活動ができないのではと不安はある。
若い人は仕事があり、団体に活動する人がいない。仕事を退職して自由な人は年齢が上なので体が動かない、活動は協力する人が数少ない。
現在、イチゴの産地は千綿地区に集中しています。しかしながら区画整備圃場の整備が無く、モチベーションは高いものの、ハウスは 50 年以上のものや老朽化があります。また、70 才代の人も多く、急激な生産者の減少が考えられます。
会員数の減少と高齢化
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手がない（役員・各推進員） ・町道管理、見守り隊を同じメンバーで実施している ・転入者に自治会入会を進めるが、入会迄で至っていない
高齢者が多く、若者が少ないので、自治会で何か活動しようとしてもなかなか主になって活動できる者がいない。他県や他市町から転入され、人口が増えることはいいが、転入された方はほとんど自治会に加入されず、近所との接触もほとんどない。
会員の増員がどこの地域でも一番の課題。次に役員、特に会員のなり手が居ないのがどこでも長年で行っている人もいる。加入年齢を下げて勧誘している所もあるが、老人会に入る年齢ではないと断られたり、即、役員をさせられたり、小間使いをさせられるのでデメリットが多過ぎるといふ意見もある。
漬物を作って出品されている方々がおられますが、令和 6 年度より国（保健所）の方針で各自で加工所を作り保健所の許可を得て漬物を出品しなければならなくなります。そうなったら現在出品されている方々はもう漬物は作らんとおられます。元気になる元がなくなります。
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体への入会が減少傾向にある（特にアパート住居者、新転入者）。人口減少（世帯）により班編成に困っている ・地区の各種役員のなり手がない
<ul style="list-style-type: none"> ・当自治会への未加入先 ・高齢者の一人暮らし先 ・戸数の減少
現在、町内の人口減少が加速し、特に少子化も進み、出生率が減少している事
高齢化による継続性

記述内容
幅広い年齢層が参加できる活動の機会がほとんどできていない。
除草作業（機械）をする高齢者が多い→安全性に心配
だんだん若い人が少なくなり、高齢者が多くなり、行事・活動をする上で大変になる
今自治会の町道又、川底の草刈等参加してもらっている人も 10 年後には 7 割以上の方が 78 歳以上となり大変むずかしくなる。
・会員減少、若年層の会員減少 ・コロナ禍により小・中学校行事や町行事への参加が激減
今後、東彼杵バドミントン協会の存続！ 今の東彼杵だけで人数不足であること！！
少子高齢化により、会議・活動が過半数にならない 郷役員又民生役員など、決められない
会員 5 名で大村へ練習に行っています。出来れば会員を増やして彼杵で行いたいと思います。
団員数の減少や高齢化、特に夜間の運転に不安があり、退団せざるをえなかった元団員も複数いる。練習活動の時間帯の検討が必要かと考えている。伴奏の指導者が町内に見つからず、現在大村市から来てもらっている。町内の指導者不足を痛感している。
部員が高齢のため、いつまで継続出来るかが課題
地域活動に若い人の参加が少ない。理由に高齢者が若い人に譲らないのかもしれない。それに 30 代、40 代の未婚者がいるので先行が不安になる。
会員数不足 コート代を有料制に。無料で休みには殆ど長崎ナンバーが多い（6～7台） 但し昨年のこと。今年は不明。
スポーツクラブの輪を広げていくための工夫 ※体験入部、情報発信を密に ※指導者同士のコミュニケーション（話し合い）
当協会の現状が、何時まで続けていけるのか？会員の状況 10 年前、200 名が現状は 50 名です。加入推進は行っているものの、反応は殆ど無です。何時まで維持できるか？
昨今の世界情勢の影響による資材価格の高騰、全国茶品評会で全国 1 位を受賞するために係る費用の増加に困っています。その一方、茶の販売単価が上がらずに農業所得は減少しています。また、全国 1 位・産地賞を受賞しても市場価値が上がらないので、品評会に取り組む生産者も減少、取組む意欲も下がっています。上記理由により、部会員は減少していくばかりであります。
高齢による部会員減少。資材高騰により新規参入がむずかしく、また、施設老朽により存続困難な状況にある。
後継者不足及び高齢化による栽培面積の縮小化
小規模団体のため、予算や人員不足により活動の広がりがむずかしい

記述内容

- ①自治会での共同作業時（草刈作業等）若い人が居ない為、今後出来なくなる
- ②空家に新しい人が入居されるが、自治会には入らずその為共同作業等にも不参加の人が出ている（入居時の規約などがあれば良いが）

4. 貴団体の活動分野に関して、東彼杵町の良いところやまちの課題を教えてください。

① 活動を通じて感じる東彼杵町の良いところ

記述内容
「ひと」が魅力的で、観光協会や民間団体（商工会や農協さんなど）との連携や協力体制や活動への理解等、そういった機関の皆さんが非常に協力的であるところだと思います。
小さな町なので、地区の相談事には丁寧に、迅速に対応してもらい、ありがたいです。
地域内のつながりが強く、心優しい町民が多い。自然豊かな環境で、お茶や観光スポットなど全国レベルのものが多く、町外からのイメージが非常に良い。
空き缶回収や一斉清掃に各世帯から参加することによりきれいな環境が保たれていると思う。
保護者同士の信頼関係がしっかりしている事
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が豊かで、子どもが育つ環境として望ましい。 ・コミュニティが小さいため、園児、児童、保護者、地域の心理的な距離が近く、顔が見えやすい。
地域交流拠点「Sorriso riso 千綿第三瀬戸米倉庫」を中心に、周辺の古民家をリノベーションした店舗や拠点づくりがなされており、東彼杵に魅力を感じた移住者が次々と起業されて、長崎県内でも注目の町となっています。
自然豊かで学校の移転もありとてもいい環境になったと思う。
子供同士、その家族同士が仲良く温かい
野球場施設の整備等
交通災害保険や自治会保険等に万が一のためのバックアップ態勢を町が積極的にやってもらっている。
定例練習に大きな穴があくことなく利用できる 借用に費用が大きくかからない
自然に囲まれた環境の中で、海川山に触れながら、地域に密着した活動を行うことができる。
町政懇談会の実施 マイナカード手続等の出張サービス（身近に感じる）
特に大きな災害がないこと 移住者の支援も大事だが、地元住民への支援にも「力」を入れて欲しい
小さい町であるために町の職員が親しく良くしてくれる。 町の面積が広いため町道が長いので、町道の管理が出来にくくなるのではないかな。
海・山あり。交通の便はいい。
農業立町として、農業について理解していただき、東彼3町の中でも突出して援助して頂いています。しかしながら、今日の物価の高騰を受けた燃油代、包装、資材、肥料、農薬、運賃の上昇によるコストアップのため収入の減少があります。

記述内容
コロナ禍でこの3年ほど活動を縮小しており、町民の方々と接する機会は少ないのですが、顔見知りも多く、親近感を感じます。
地区住民の方が独居者の情報を提供してくれる
実例として町道陥没、上水管の水漏れ、その都度打上、その日に施工され助かりました
風光明媚で、人も温かい。
<ul style="list-style-type: none"> ・町政懇談会の開催 ・各種補助金
自然豊かで交通の便もよい。高速もある。また比較的にみて災害が少ない所。
町民の協力
草刈作業の燃料費や材料・資料等の支給
活動といっても、遠目は活動分野が少ないので、でも連絡をすればすぐ対応してくれるので有難いです。
町が小さいからか職員さんの顔と名前を覚えることが出来やすいためか、親切な方が多い
<ul style="list-style-type: none"> ・風光明媚な場所や豊かな自然に恵まれている ・交通の便が良い
東彼杵町バドミントンに感じて、長年先輩たちがバドミントン協会を作ってこれ約45年運営が出来ることが良いところ！今の先輩の年齢で93歳
交通の便の良さ、風景の良さ、各部門の代表は大いに活動できているが、全体を束ねる人がいない
文化協会があり、芸能発表会がある
音響効果の良いホールや素晴らしいピアノがある。道の駅にピアノが設置されたのは、音楽に接する機会を増やすためにも、とても良いことだと思う。小規模の発表会等に対応するためにも、大会議室にピアノの設置を希望します。
施設が低額に使用出来る
地域活動に対して色々な支援が有る事。しかし自治会等が利用しきれていないのがもったいない環境は恵まれていると思います。只、高齢者の方が無関心、団体活動に及び腰・気性はよいと思いますが？
そのぎ茶のPR活動、茶品評会活動へ協力していただきました。昨年は品評会対策に関して費用の面では大変お世話になりました。今年も全国1位を目指して頑張りますのでご支援の程、よろしくをお願いします。
ふるさと納税や道の駅での販売はPRも含めて助けられている。
シートマルチ資材等の町の補助はありがたく思っております
本町産品を宣伝していくなかで、「東彼杵町産」に対する信頼度が非常に高いと感じる。町内のそれぞれの事業者が品質向上にととても丁寧に取り組まれておられる。

記述内容

交通の利便性が良い場所だと思います（どっち方向でもいける）

② 活動分野における東彼杵町が直面する課題、あるいは長期的な視点からの課題等

記述内容
過疎化の問題
農工商、地域経済が活発化しなければ、町で夢見る若者がいなくなるので、活発化させたいと思っています。夢を叶えられる町になるには、やはりこの町でのいとなみが豊かであるべきだと思います。また、2025年問題を目前に、今以上、若者が流出してしまえば、将来の福祉介護の点でも支える人もいなくなり町が疲弊するだけです。より、みなさんのいとなみをより豊かにしていき一度、町を出てもまた戻ってきたいと思える夢の舞台に町がなれるよう取り組んでいきたいと思っています。
高齢者世帯に対する「買い物、通院等」のサービス提供 転出者に至る原因の克服 移住者対策重視よりも、今の在住者を重視した対策をお願いしたい。
人口減少が著しく高齢化率が高い。高齢者の支援を担う人材が不足している。
町道の除草作業などは現在のところ何とか継続できているが、少子高齢化の影響が大きくなり徐々に厳しくなっていくものと思われる。
入部の部員が少ない
<ul style="list-style-type: none"> ・産業が少なく、働き手の絶対数が少ないため、現役世代の人口減少が続き、結果として子どもの数が減ること。 ・町の税収が減ることで、教育・福祉分野への支出も減っていくこと。 ・都市部と比較して、教育に関する様々な情報、機会に限られること（研修、講演会、塾や習い事、コンサート等の芸術との触れ合い、交流する人材）
人口減少と少子高齢化の進行
文化活動に参加する人が少ない 人口の減少や経済的理由もあるかもしれない
人口減少によるプレーヤーの減少
<ul style="list-style-type: none"> ・出生率を上げるような対策を、及び子育てしやすい支援 ・イノシシ捕獲後、解体処理からジビエ料理として出せるような加工場施設が出来ないか
児童体育館の補修、改善 交流試合が行えず、毎回諫早まで行き、リーグ戦に参加しなければならない
表立って新店舗等ができてはいるが、なかなか子ども達との関わりが少なく、活動範囲が広げにくい。
イ. 高低差が大きい地形なので、交通弱者（特に小中高生）への制度設計を早く取組んで欲しい ロ. 地域転入者へは、確実に地区長等へ連絡を取る様義務付けて欲しい。空き家活用で転入を促しているが、どんな人が（転業も）移り住んでくるか不安もある
「世帯数の減少」若い人も高齢者も他町へ流れていっている様。

記述内容
交通の便が悪い。（バス停まで出られない高齢者もいる）（タクシー券の増額）
人口減少（特に中山地区）
小児耳鼻科、それとストアーがあればと思うが、どう活動していいかわかりません。
苗部会にはまず休耕日、耕作放棄地の圃場整備があります。後継者不足による、面積の減少があります。県内で唯一面積を伸ばしているのが JA 西彼です。彼らのノウハウを調べることも大切と感じています。新規農業者には補助は充実しているがあと取りには全く無い。
人口減少・働ける場所（若い方の）が少ない
町単工事、平成 24 年度打上の工事で、令和 4 年に回答 10 年かかる事から一部の工事にキャンセルが発生する事案も有りました。大まかの回答が載れば幸いです。
今後ますます高齢化していく中で、各自治体で行う町道の草払いなどの作業が出来なくなるのではと思う。転入者が自治会に加入されれば少しは違うと思うが。
人口増の対策も大事だが、人口が半減したときどうするのか等具体的な構想、対策を今から考えておく必要があると思う。従来には無い発想の転換が求められると感じる。
若い世代の人が住みやすく、便利な所へと流出している。店が無い、小児科がない等いざという時の対応が出来ない所がある。また、アパートがない、家を建てたいが、土地がみつからない等も良く聞かれる。こういった現実的な所を長期的に計画してもらいたい。
高齢化による文化活動の愛好者の減少
人口の減
人口減少
各地域の神社等の祭り事の建物の修繕費が確保出来ない。
山間地域が豊かになることをしてほしい
人口減少、高齢化
少子化・高齢化や人口減少
大村市に比べて土地が安い。しかし、地元は売らない。 農地・運動場などを宅地として売り出す。
高齢者があまりお金をかけないで出来る様な事を考える
コロナワクチン接種のため、立派な文化ホールの利用が制限され、発表の機会が減少している。若者の合唱活動への敬遠傾向や指導者不足。また小中学生たちは、部活や団体サークル活動を好まない雰囲気を感じる。
獣害対策の町単事業を検討してほしい。国の事業をつかえないため
長期的な視点からの課題については、問 3 で回答したとおりです（問 3 の回答：昨今の世界情勢の影響による資材価格の高騰、全国茶品評会で全国 1 位を受賞するために係る費用の増加に困っています。その一方、茶の販売単価が上がらずに農業所得は減少しています。また、全国 1 位・産地賞を

記述内容

受賞しても市場価値が上がらないので、品評会に取り組む生産者も減少、取組む意欲も下がっています。上記理由により、部会員は減少していくばかりであります。）。茶生産者数が減少することで、東彼杵町の特産品である「そのぎ茶」の生産量が減少していくことが心配です

昨今の世界情勢の影響で、資材・肥料・農薬の高推移となっています。先行不透明な中、支援をお願いしたい。

トップセールスがお茶、特に「茶葉」のみに集中しすぎているように見え、「そのぎ茶」を活用した菓子やスイーツ等のほかの食品や、食品以外の加工品などの特産品の掘り起こしや育成がなされていないのが課題とみています。

若い人に残ってもらうには近場での雇用（会社）等があり、通勤圏内であれば人口も増えるのでは？

5. 貴団体の活動について、この先（特に今後 10 年間）において、「もっとこんなことに取り組んでみたい」といった今後の展望や方向性、「地域でこんな存在でありたい」といった目指す姿があればご記入ください。

記述内容	具体的な取り組み内容
地域色がある、行事等を行いたいとは思いますがコロナ禍の為自粛せざるをえません	思案、検討中
東彼杵町は夢を見れる町だと思ってもらえる、そんな存在でありたいです。そのために、他の町からもっと羨ましがられる町になるべく文化度とアートを掛け合わせた取り組みを行なって行きたいです。	そのために、他の町からもっと羨ましがられる町になるべく、アート公園を千綿小学校の跡地に作りたいです。公共施設跡地は、公共施設として引き続き使えば地域反対も少しは減るのではないかと思います。「人を集めるのではなく、集まる」ということを実現するには、人の心理として能動的に動かすことが必要だと思います。アート公園は、長崎県にはがつつりとしたものはないのと、子育て世代が動く町は活発化しますし、地域経済が動きます。駐車場を有料にするもしくは、デジタルアートなどを NFT で販売するなどして、場所の維持費を作り出し負担なく公園の維持費を生み出せば町としての税収も含め長い目で効果を期待できると思っています。町としてもし厳しくとも私たちの団体でいつかは必ず行います。
一番には今年こそ「敬老会、里おくんち」を再開したい。 旧グループホームを買い上げ、お一人暮らしの方々が自由に宿泊できる「宅老所」が欲しい。	
地域の方々に親しみを持っていただける立ち寄りやすい場所を目指したい。	現在、行っている事業の質を高めるべく職員の教育、職員の増員や人材の発掘を検討している。
試合を通して、チームの団結力などを学べる場にしていきたい	
<ul style="list-style-type: none"> ・さらに地域との連携を進め、世代を超えた交流の場となる。 ・先進的な教育と環境の充実に取り組み、町外の保護者からも選ばれる園となり、さらに、 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大村地区からの入園者の確保（現状在園児 177 名中 100 名が大村市からの通園） ・卒園児の引継ぎ等、千綿小学校との連携

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>子育てのために、町内に移住したいというニーズにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新園舎を建築して、園舎が分かれている現状の課題を解決する。 ・オンラインを活用して情報格差を埋める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童への児童用 PC の導入。 <p>【これからの展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 等を使った情報発信、説明会の充実 ・ さらに幼保小連携を進め交流を増やす ・ コロナが収束後、地域の方と交流するイベントや場所の提供
<p>地域経済を支える中小・小規模事業者の事業存続を最重点に支援するとともに、経営の課題解決へ果敢に挑む成長志向の取組みについて、国・県・市町の施策を十分に活用しながら、事業者の支援を継続していきたいと考えております。</p>	<p>事業計画の重要性を理解してもらいながら、個々の売上・利益の拡大を重点的に支援し、コロナ禍で低迷している地域経済の復興に取り組みたいと考えております。</p>
<p>踊りを観る人たちが、幸せを感じられる様な存在になりたい</p>	
<p>学生野球との合同練習や体験活動</p>	<p>スポーツクラブひがしそのぎでの野球教室の実施</p>
<p>約 15 年前まで地区独自で「西宿盆おどり・演芸大会」を実施していたが人口減少や資金面等の都合で中止を余儀なくされた。今後、町からの何らかの支援が得られれば復活することも不可能ではないと考える。</p>	
<p>彼杵ドッジボールクラブは、小学校を対象としながら彼杵で 20 年以上前から活動するクラブなので、卒業生や、当時の保護者等でもっと盛り上げていきたい。</p>	
<p>子ども達が「ここはこんなことをしている所」「～はこうやってするんだよ！」と紹介できる活動を行っていきたい。</p>	
<p>子供会（子育て世帯）と自治会とのふれあい活動を模索中 （今後住居が増える様相）の為と地域での見守り</p>	
<p>世帯数も少ない。お互い助け合っていくしかない。</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>地区で何か行事があるときは、出身者が帰省して楽しく、昔を思い出しながら参加してくれる様な取り組みができればと思う。</p>	
<p>世帯数が減らないような自治会であってほしい。</p>	
<p>目指す姿はあるのですが、少子高齢化が進む現在むずかしいところも有ります。</p>	
<p>東彼杵町はケーキ屋さんやお茶をするところがたくさんあっていいですねといわれます。逆にあなたは東彼杵町に住みたいですかと尋ねると答えは「ノー」です。我が町はもう脱皮をする時がきています。「茶とくじらの町」から新しい町の方向性、「いちご」をお忘れなく。</p>	<p>お茶には（茶子ちゃん）があります。この町のキャラクターを公募してみてもは。SDGs と聞きはしますが、（おでい）肥料への取組み、重金属や有害な化学物質を取り除かなければならない。JIS 規格を取って、N.P.K の自給自足が可能です。国や経済連への働きかけを強く要望します。食料防衛環境への配慮はもう待ったなし。全力で農業を応援してください。</p>
<p>現状を維持する事に一生懸命で先の事は考えられません。</p>	
<p>今まで以上に地域の皆様の信頼を得る</p>	
<p>自治会自主防災組織の向上 防災マップを活用し定期的に専門家に要請し訓練すること 現状は名ばかりの組織を変えたい</p>	
<p>コロナ禍で3年実施できていない「ほたる祭り」を復活できればと思っているが、3年のブランクは大きく、前回まで中心になって活動されていた方の意欲もなくなってきている。せっかく数年続けてきた活動なので、なんとか復活させたい。</p>	
<p>老人会の現状、世の中の日進月歩の今日、今後10年間の計画を描くのは困難だが、確実に進歩しているのは高齢化社会の発展と医学の進歩。人間の寿命は120歳以上まで延ばせると言う。老人社会も前期、後期高齢社会に区分けされ、それぞれの生き方を考える必要が出てくるだ</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>ろう。老人個々が時代に対応できる体力と精神を更にグレードアップする必要も出てくるだろう。私生活の改善はこれまでも実施されて来たが、これからも奉仕の精神は持ち続ける必要がある。長い年月、生きる為の支援を受けてきたので恩返しのつもりで対処する必要はあると思う。</p>	
<p>全ての人が道の駅へ行ったら楽しい、おもしろいと思ってもらえる場所にしたいと考えています。</p>	
<p>少子高齢化により、一人暮らし所帯が増えてくると思う。地域全体で声掛けなどできる雰囲気、情報の共有（例えば新たな地域行事に取組むなど）を考えていく必要がある。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して住みやすい地区の維持 ・本町公民館を有効利用してもらうための方策 ・各種行事への参加 	
<p>現在、認定こども園として活動しているが、この先 10 年の間に町内の子どもも、このままでは益々減少していくと思われるが、少しずつ他の取組みも視野に入れ、地域に貢献していける様に考えていきたい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・稲作（田植え体験、収穫祭）体験に地域皆が参加し、親睦を深めたい ・集会参加者の幅を広げたい（年 1 回位）。年寄り、若い人、子供の参加を得て若い人の意見を聞く 	
<p>町の中心は人口も多いし、若い人や移住者が来て活動も出来ると思いますが、町の外れの地域では 10 年後、人口減少、高齢者が多くなり、なかなか活動が出来にくいと思います。</p>	
<p>笑顔あふれる人間関係、笑い合える人間関係を築く</p>	
<p>人が集まってこられるような面白い大会であ</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
ること	
日本の伝統芸能民俗文化なので後世に伝承していきたいと思っています	
東彼杵町を大きく PR できる曲作り(合唱曲等)	
コロナ禍で自粛になっていた行事等を再開して、たとえば秋の収穫祭を行い、地域外の若い人々を呼んで、交流を行う事で活性化をはかりたい	
高齢化社会において健康寿命を延ばす意味からも団体活動に興味をもって貰えるよう組織としても頑張ります。ご支援よろしく申し上げます。	
<ul style="list-style-type: none"> ・茶工場、製茶機械の更新時期にきております。現在、国の製茶機械リース事業を活用して機械を導入していますが、機械価格も以前と比べるとかなり上昇しており更新を諦める農家が多いです。最新の製茶機械を導入することで燃料費の削減もできればいいなと思います。 ・生葉生産農家の減少にともない、廃園が増えています。廃園の管理、今後について協議を行いたいです。 	
町の特産品として県内外にも宣伝していけたらと思っています	特産店等アピールする為
バラエティ豊かな特産品の取扱い事業者の会員を増やし、本町の特産品、名産品の販路拡大、町の知名度アップに貢献できるような活動をしていきたい。	町観光協会と協力し、道の駅での「定期市」の開催とそれを充実させて町外からの誘客と消費の拡大を図りたい。

◎ 東彼杵町のまちづくりについて

6. この先（特に今後 10 年間）において、東彼杵町のまちづくりを進めていくうえで、町が目指すべき姿や方向性はどんなものだと考えますか。

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>地域課題、福祉課題、社会課題どの問題も直面してしまう難しい時代になるので、これまでのような動きではなかなか難しく思います。そのため、能動的な人の心理を掴める取り組みが必要かと思っています。是非、文化度の高いまちづくりを行政としても動いていただきたいです。</p>	<p>景観資産やこれまでの文化そして、これからのあらたな文化づくりが今後の鍵かと思っています。またフランチャイズなどのお店は、景観条例でカラフルな色合いをやめてもらうなどと条例を出していただきたいです。お金はかかりませんので。特に千綿は景観条例でセブンの看板を茶色にしてくださいなど出していただけると有難いです。私からは城下町などにあるセブンの本部に茶色にしたいと申し出ましたが、景観条例がない限りできないと言われました。城下町だけに限らず、夕陽の綺麗な町だからこそ機械的なものをなるべく抑えるなど必要かと思っています。</p>
<p>道、水路の管理が心配される。 食品の買い物。</p>	<p>町営による食品中心のミニスーパーを消防分団単位に設置してほしい。</p>
<p>子育て世代へのサポートの充実や、高齢者を地域で支える体制の整備。</p>	<p>町の目指す未来像を検討し、町民全体で共有する機会づくり。</p>
<p>本町においては人口の減少率が高く、過疎化が進行している。これから東彼杵町を支えていく若年層や子育て世代に町に住んでもらうことが重要と考えます。町においては近隣市町村に通勤する方が若年層遠距離通勤応援金の交付が受けられるようになりました。この施策は過疎化の対策として有効なものだと思いますのでこれから先も続けていただきたい。また、住居や子育てに対する援助なども併せて行う必要があると思います。</p>	
<p>まずは、子供の人数が低下している事。 何よりも他の町などからかなり遅れている事。 子供への支援が少なすぎる。</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>農家ばかりが目を向けられている事。 自然豊かで良いところは分かるが、子供達同士での交流が無い。</p>	
<p>町だけでの人口増加は困難なので、いかに外部から人を集めるか（居住でも観光でも）が最優先課題だと思います。そのためには、東彼杵町の魅力の整理と情報発信が必要になってきます。幸いにも既にお茶産業や、千綿駅地区の開発、空き家バンクなどうまくいっているものが多数あるので、その中で、弱い部分を強化していくと良いと思います。</p> <p>個人的には、これからを作る若い世代のやる気のある方に、もっとお金や権限を集中したほうが良いと思います。ある程度まで考えた上であれば、結果だけにこだわらずリスクを取ることを認めたほうが、結果としてうまくいくと考えます。反対意見もあるでしょうが、町としては戦略的に判断していただきたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（もうされていますが）町民の意見を収集する会議やワーキンググループの設置 ・分野ごとの専門家の意見聴取、参画 ・ワーキンググループの会議の結果を予算配分へ落とし込む仕組み
<p>東彼杵町の美しい自然の景観や伝統文化など今ある貴重な資源をまもり、さらに磨いていくことが重要であると思います。また、東彼杵町は、長崎県の中央に位置し、長崎空港に隣接、長崎自動車道東そのぎインターチェンジを有するなど恵まれた交通アクセス等を活用していく必要があると思います。</p>	<p>昨年 11 月に町長と商工会役員で意見交換会をさせていただきましたが、その時にも話にでていた北海道の東川町もモデルとして取組んでいけばどうでしょうか。</p>
<p>若い世代が町内で暮らしていく魅力的なまちづくり</p>	
<p>人口増加を図り、高齢者と現役世代を 1：1 ではなく 1：2 以上にすること。</p>	<p>子育て世代への支援の拡充および優遇</p>
<p>(7,8 も含め)現在、町が抱えている課題（少子高齢化対策・道路整備や公共交通機関への取組み）の解決策を町として具体的に示してもらえれば、区として協力できるところは協力していきたい。また九州各地あるいは全国における成</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
功例等を紹介してもらえれば、課題解決の一助となるものとする。	
その道の経験者と、新しい人達がつながり、町内で交流の輪がしやすい環境を整えていきたい。	
新しいことを始めることも大切であるが、既存のものに対しての知識や経験を充実させ、お互いに協力し、支え合える様な強固な関係性を築く、一つの役割として活動していきたい。	
人口減少の歯止め	宅地造成して移入勧誘
<ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・活性化 	たびたびアンケートを（町民への）とり、町民の声を聞くこと
若い人達が町内に住んで町内で働く事が出来る	工業団地の造成
町からの流出の食い止めと、若い夫婦と子ども達の受入体制政策をお願いしたい。	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても住みやすい町 ・若い方々が住みやすい町 	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致すること ・雇用を拡大すること ・過疎化から早く脱却すること 	
子どもを育てる環境が整っている町づくりを進めてはどうか。資金源をどうするか問題ではあるが、子どもの医療費や保育料、給食費などの無料化を行ったり、子どもを持つ親の就労問題の整備をおこなったりなど、大胆に取り組むことで、子どもを持つ親が多く転入して活力ある町ができてくるのではないかと。	
<p>交通網の整備と施設の集約化</p> <p>町営バス、地域バス（導入）の充実を図り、公共施設と医療機関、商店等を集合化し、交通の利便性を高める。（高齢者が出かけやすい環境を創る）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少をくい止めるための対策 	子供に関する育成事業に力をいれることで、人

記述内容	具体的な取り組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・移住先に選ばれるように住みやすい環境作り ・企業誘致 	<p>口減少にストップと移住者増加につながるのではないかと。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「プログラマーを育成する町」という形で、町在住の小学生～高校生までプログラミングを学べる塾を町が作り、町民は無料（町負担）、町外者は有料。 ②ボルダリングやアーチェリーなど、選手人口が少ないスポーツができる環境を作る。 ③外国と友好都市を結ぶことで、小学校からの海外との深い交流ができる。また、米軍基地在宅へのショートステイなど <p>東彼杵町に住むことにより、子供の未来の選択肢が増える何かを作ることが必要。</p>
<p>若い世代の意見等を聞いて欲しい。子育て世代の人達は色々な考えを持っておられるので若い世代にも住んでもらえるような現実的な計画を立てて欲しい。保護者の人達からよく相談されるのが、まず家を建てたり、空き家にリフォームして住みたい等聞かれますが、貸してくれない、売ってくれない等と言われます。</p>	<p>町で家を建てられる土地を確保したりして欲しい、また、道路を作ったりして条件を整えてやる事</p>
<p>町民誰もが集える行事等</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の発展ばかり目立つが、町にももう少し大型商店が建設されるよう要望します ・移住者には補助が出ますが、以前から東彼杵に住んでいる人にも支援をして便利な住みやすい町にして欲しい 	
<p>常に話題を発信、安全、安心、歴史があるイメージのある町（歴史はある）</p> <p>県外に行くと彼杵と読めない人が非常に多い</p> <p>お茶鯨以外でも話題をつくり、東彼杵町を知ってもらう機会を増やすことでは</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に過ごすことができる ・美しい景観を守り続けられる 	
<p>東彼杵町で運動が出来るような施設を作って</p>	<p>バドミントンが出来る施設</p>

記述内容	具体的な取り組み内容
もらいたい	
捨てるか得るか、半端な人口増は考えないで城の中で、今いる人口の中で、今の東彼杵町民の収入増を考える	
人口の少ない町でも住みやすい町、明るい町づくりだと思います	
学校教育や社会教育において音楽文化の低迷が不安である。若者の育成に取り組むことや町外で活動せざるをえない現状（活動団体数や指導者不足、音楽レベル等）を打破していく必要がある。	東彼3町や近隣市町との文化交流、合同発表会、合同研修会などの開催
人口減少・少子高齢化	
転出者を減らす取り組みが必要と思う。それと子育て世代の人が住みやすい環境づくりが必要と思う。	
海が見える所に温泉が出来ればいいのだが	
いろんな年齢層とのコミュニケーションづくり	
住みやすい町、住みたい町 老若男女、挨拶のできる町でありたい	
農業者への雇用を増やすため、定年退職者の紹介をしてほしい。	
長崎県央という地域性を生かした活動をお願いしたい	
尚一層の過疎化もやむを得ないが、古き良き歴史が残る「一流の田舎」を継続させるのか、人口増に舵を切って新たな産業や宅地造成（農地から）の積極的推進へと転換されるのか、その時の町のトップが方向を示されるもので選挙等でしか我々の思いは反映されないものと考えます。	

7. 東彼杵町のまちづくりを進めていくうえで、貴団体や町民、地域等と東彼杵町で協力・連携して取り組めることはどんなことがあると考えますか。

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>町の見える化をはかるべく移住者に限らず元々の住民の皆さんや経営者のみなさんを中心にインタビューをし取材記事を作る取り組みを行なっています。</p>	<p>そこにはライターさんの費用ももちろん捻出し支払い、ライターやクリエイターさんの移住促進も狙っています。現在、ボランティアではなく有償ボランティアのかたちに近いですが、維持するために商工業を中心に記事制作を行っていますが、本質として行いたいのは、本当にボランティアで活動している町の人たちを、取材したいと思っています。がしかし、予算を費やしているため、そこまではまだ達していません。もし、可能ならそういった予算をこれからの活動費として取っていただけたら嬉しいです。地域の方々のアーカイブを残すことはこれからの町の財産にもなりえますし、後世に挑戦風土を継承できると思います。夢を見れる町＝挑戦したいと思える町だと思っています。</p>
<p>地域の方々への聞き取りの実施。</p>	<p>各地域での座談会の開催。</p>
<p>高齢化が進み、高齢世帯が増えていく状況であり、行政と協同して見守っていく必要があると思われる。</p>	
<p>大人と子供との交流の場を作って欲しい</p>	
<p>各種イベントの開催、広報、後援、町施設の利用</p>	<p>既にいろいろとお願いしていますが、コロナで町施設の利用ができていなかったため、今後回復していくとありがたいです。</p>
<p>国において平成 26 年度に小規模企業基本法が制定され、小規模企業への支援の強化を進めている。その中で地方公共団体においても小規模企業の振興に関する施策を策定・実施する責務が明記されており、東彼杵町においても小規模企業の振興条例を作っていただきたいです。</p>	<p>事業者の販路開拓、生産性向上の取組み支援。</p>
<p>町の文化活動に限らず、必要であればボランティアにも参加出来る</p>	
<p>体育イベントの周知を手軽にできるようなシ</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
STEM作り	
<p>※現在の西宿の人員構成の現状</p> <p>西宿地区は20歳以上の男女86人中、ほぼ半分の45名が前期高齢者～後期高齢者であり、高齢者の健康寿命の維持に苦慮している。その為、現在町が実施している特定健診の受診率をさらに向上させる必要があると考える。</p>	
<p>イキイキ子ども教室や、出張体験会等（自チームで広報活動をおこなってはいるが）教育委員会等と協力し、ドッジボールの魅力を拡げていきたい。</p>	
<p>地域の文化等を継承していく上での、媒体として活動をしていきたい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・町政懇談会や町議員さんとの話し合いの場を持って意見交換していくなど ・住みやすい町づくり（病院受診などが大変になるだろうと思う。買い物なども乗り合いバス（車）を小地区にも通わせてもらいたい） 	
<p>町や町民同士が触れ合えるような場所をつくる</p>	<p>ふるさとふれあいまつり・町民運動会</p>
<p>わかりません</p>	
<p>自治会会員が互いに協力し助け合う機能が低下している。お互い意見交換する場を設け困りごとを聞きながら情報や課題を共有し活動に結びつける。</p>	
<p>各団体で行う活動や催し等の広報活動を活発にして、まずは町民にそれぞれの団体や地区でどんなことをしているのかを知らせることからすべきではないか。町民は知らない部分が多いと思う。たとえば、お茶の一番茶摘みの手伝いなど。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・町内でも祭りにかかせない蔵本浮立の存続が難しくなっている。囃子方（笛・太鼓）踊り手が激減している。子供も少なく、地域との 	

記述内容	具体的な取り組み内容
<p>交流も少なくなっている。蔵本浮立には地区外の参加者が必要になってくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の豊かさや交通の利便性、「特産物」の宣伝などを通じて、町の魅力を積極的に発信していく。「SNS」などを積極活用する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・防災 ・防犯 	
<p>茶市やふるさとふれあい祭り、他の行事等の中で、声を掛けてもらえれば、子ども達の出し物など一緒にさせてもらい、子どもから老小まで楽しく参加できるような場を持ってもらえればと思います。楽しい町づくりのひとつとなればいいと思います。</p>	
<p>「町体育協会、文化協会、スポーツクラブの一本化」</p> <p>どの国体も会員減少が顕著だと思われます。町民が気軽に参加できる体育、スポーツ分野の一体化を考える時期ではないではないでしょうか。</p>	先進地の調査の必要性
<p>ふれあい祭り、運動会</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを進めていく上で、規則・資金・人口増などの問題がある ・消防団活動・スポーツイベント等の人材確保が難しい 	
<p>遠目地区は高齢者、一人暮らしが増える一方です。町・役場・医療機関に行くのも大変になります。前に話があがってました、ワンボックス車をタクシー代わりに部落におくことをはやく行って欲しいです。</p>	
<p>防犯カメラを地区の出入口交差点等に取り付ける</p> <p>東彼杵町の安心安全のアピールにも</p>	
<p>女性の目線（ソフト面）</p>	
<p>今から世代交代をしていくこと</p> <p>各団体を長く運営していく事で引継ぎ</p>	

記述内容	具体的な取り組み内容
千綿駅が盛んな時に大村湾 P.A を改良し、九州号の停留所を要請し、P.A 内に東彼杵町産品を販売。海老名 S.A のようにする。駐車場建設をする。	
各地区の耕作されていない所などを使って住民の役にたつものを作る	
町内に活動したい場が無く、他市町に出向いている町民もかなりいるので、活動できる場やその機会をつくっていく。	各団体の活動状況を町民へ PR できるパンフレット等を作成し、広く町民へ広報する。
情報交換を密に	
地域と協力して「そのぎ茶」の PR 活動を行うために、産業祭、秋茶市の開催をして欲しい	
ふるさとふれあいまつりの様なイベントを開催（再開）してもらいたい	
まずは、我が町の将来を担う、子ども達とかかわりを強くされたい。現在のまちの魅力や課題など、地域や行政、そして学校が連携し議論する中で「東彼杵町」への愛着や誇りを持つ子どもたちが、10年後の若手リーダーとして、その時代にふさわしい町づくりに参画し活動してくれることに期待。	町内小中学校が実践されている「コミュニティ・スクール」をより充実させたい。町外の大学のゼミや高校の授業の一環では、一過性の話題づくりでしかないと感じています。
季節ごとにいろんな行事に取り組む（イベント） 春（お茶）夏（祭り）秋（収穫）冬（?）	

8. 東彼杵町のまちづくりについて、専門分野に限らず、今後どのような取り組みを進めていく必要があるか、ご意見やアイデア（提案）があればご記入ください。

記述内容
幅広く、町民の方々からの意見、アイデアなどを聞くべき
<p>地域の人材育成が必要だと思っています。一流の田舎とは単純に何も変わらない町ではなく、地域の人たちがいかに意識高く他人事ではなく自分ごととして町のことを想う人がいるかだと思います。そのためには、地域の人たちの町への愛情をさらに育むためにも地域を見える化したいので、取材をどんどんさせてほしいです。そのためには、そんな町の文化や人を知るための人材をこの町に増やしたいです。どうぞお力添えよろしくお願いたします。</p>
<p>子供の人数減少。結局は大きくなると子供達は他県や他の町へ移動する。長崎県での中間地点と言うが、結局は何もなさすぎる。カフェなどは増えたが、町外からの顧客でマナーが悪い人もいる。車を持っている人は、町外での買い物をする。まちづくりと言うが、結局は子育て世代の親の意見はほとんど反映されていない。コロナになっても、ネットスーパーが使えない。これは、本当に困りました。子供が何かの感染症になったりする事はしょうがないと思うが、親は外出を控えるようになるが、買い物は必要。そう言う代行してくれるサービスを、高齢者だけではなく、町全体に必要だと思う。金額が高い所で、しょうがなく買い物している人が多い。県外から嫁いでみて本当に色々な意味で遅れている。不便だから便利が良い所に人は移動するという考えを持って欲しい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・若手や外部の力の活用 ・既に成功している分野へのサポート ・特徴（くせ）をもった担当者による情報発信
<p>東彼杵町の特別町民制度は今後も継続して登録者を増やし、町の施策に活用していただきたいと思っています。</p>
<p>遅くなって申し訳ありません</p>
<p>あまりにも古い児童体育館の改善をお願いしたい。教育委員会や、各小学校と協力し普及に努められる環境整備をしていきたい。</p>
<p>学童は、様々なイベント（特に土曜）に参加可能と思いますので、お声掛けおねがいします。盛上げ隊として活躍できます。</p>
<p>イ. 若人社会へ向かう中で、特に日常必要な主な物を端末機器利用で宅配サービス、システム（コンビニだけでない）の設計</p> <p>ロ. 特に町内に食品スーパーが少なく、千綿地区などの消費は町外へ消えている。また、地域振興券も有難いが、欲しい対象品（取り扱い店）が少ない。</p>
<p>とにかく、支えあっていくしかない。</p> <p>近郊地区との合同作業などして、地区をきれいに（環境）保ちたいと思う。（荒地が多い）</p> <p>※小学生～高齢者へのアンケートで意見やアイデアを聞いてみてください</p>

記述内容

東彼杵町のいい処（お茶の日本一）、龍頭泉、番神山を PR して、人々を呼び込む

千綿地区がよくメディアに取り上げられて、千綿駅やカフェなど町外からのお客さんが増えている。町民はもとより来町されたお客さんの憩いの場として千綿川の整備をしたらどうか。そうすることで、龍頭泉への来客も増やせるのではないか。本町は森林が広いので、その森林を活かした事業を取組んだほうがいいと思う。具体的なアイデアはないが、本町の良さを活かすことが大事だと思う。

（4,6,7,8 については一括して記述）

以前、単位老人会で町内の施設や景観のいい場所巡りを実施したことがあり、好評だったとの報告を受けたことがある。同じ町内でも県下では西彼・大瀬戸町に次ぐ広さなので、町内でも行ったことがないと言う人もかなり多い。町外での研修も大事だが灯台下暗しではどうしようもないので、単位クラブでの計画を奨励している。

近年、スマホ時代となりインスタ映えする場所やスポットも多くあり、知る人は次々と訪れているので、町として見過ごす事なく如何に引き留め、再訪する「印象促進事業」みたいな事ができないか。隠れたスポットを地域から紹介してもらう方法もある。

例えば、四国の巡礼地ではスタンプ帳を作り配付したり、巡礼着に押ししたりして参加者の意識を盛上げている。

下水道事業を実施している市町村ではマンホールのレプリカなどを作製し、来町記念に贈呈している。町でも「日本一のお茶」の一袋でも買ってもらえるような工夫を企画するのはどうだろう。町が直面する最大の課題は人口減少。併せて限界集落化。こんな中で可能性のあることは何か。かつて、昭和 40 年代、いずれは少子化時代が予測されたので、大村市のボート事業の開催日に一日を、他の市町村と組合を作り参加して開催する事業が実施されていた。その事業で還元された補助金を原資として町では子育て支援事業として「育児奨励褒賞金制度」が実施されたことがある。これは他市町に先駆けた事業であったようだが、その後の状況は不明で事業そのものは取りやめられたので廃止された。今日、限界集落への進展は進み、過疎地域としての国の助成もあるようなので、この原資を活用して人口減対策事業を新たに検討してはどうか。

耕作放棄地、荒れ地の活用については農地法や小作法との関係から難しい面もあるが、国の役人は法律を盾に首を振らない。時間が経過しても気づいたときにはなくなってしまうというのが通例。安倍元総理の時代、憲法の解釈で集団的自衛権の行使は可能だとした。事程左様に法律を逆手に取ることも時には必要となる。荒れ地や耕作放棄地はイノシシの格好の遊び場となっているが、これらを解消する意味からも特例地域の指定を取り付け農地転用等を容易にする方法も検討してはどうか。ただし、この実施には強力な政治力も伴うので国選の政治家のコネを探るのが必要不可欠の条件。この手口には森友学園や加計学園で示されているので十分に参考になる。

半世紀も懸けても尚進展が無い東彼杵高規格道路はようやく動き出したが、実現には次の世代ま

記述内容

で係ると思われる。広域農業道路のレインボー線は大村―東彼杵間は完成したが、それから先は西彼地区の西日本道路との接続が優先され、東彼杵―佐世保市間は江迎、佐々地区の整備に廻され東彼杵町道路の整備は後回しとなった。これも政治力の差で地元県議の力不足からだと推測された。一事が万事でアゴと知恵を絞りやるしかない。

東彼杵町が「日本一うまいお茶の生産地」を確立できたのも「ローマは一日でならず」で産地農家のジイジ、バアバが現在の後継者が生まれる前から積み重ねた努力の結晶である。歴史はあるが自分たちが作ったものが商品として売れば良しとした考えから、「嬉野茶」の影武者からの脱皮をまず考え、「そのぎ茶」としての銘柄確立に努力された。

町も若い後継者と一体となり、県とも協力して現在の地位を確立した。「お茶とミカンの町」としてスタートした中で、茶生産農家では良質茶の生産を辛抱強く継続させた。

茶樹の品種改良、耕作面積の拡大と省力化（乗用摘み取り機械の導入）、自然災害対策としての（防霜ファンの設置）等の事業を実施した。

また、個々の生産者は自家用の加工場を持ち、良質の茶葉を生産することを競い、商人は如何に商品の価値を高めるかの支援、協力をした。夏場は清涼飲料水に押され、緑茶の出番はなかったが、大手メーカーがペットボトルの緑茶を販売したことから、今まで摘んでも二束三文だった2、3番茶の活路が開けた。粉碎していろいろな二次製品として活用する施設を立ち上げた。これも若い後継者がグループをつくり始めたのだ。

JAと生産者が協力してアルミ缶の「そのぎ茶」の原料として活用。これから先、新しいアイデアでの活用が試行錯誤されるであろうし、捨てられないものが蘇ることとなったのも生産者にとっては希望の光である。この光を消さないように灯し続けるには行政の支援も必要となる。

テレビを見ていたら在る県で食用コオロギの養殖を実施している所があった。外国では良質のタンパク質として大いに活用しているとの事。東彼杵町に企業立地している飛行機部品メーカーがこの情報をいち早くキャッチして東彼杵町で事業化するとのことだ。環境も良く耕作放棄の農地はいっぱいある。これらを活用すれば新しい生産物として国内はもちろん諸外国への輸出も夢ではない。どこの国も自給自足に苦勞している状況の中、絶好のチャンスであるので町づくりの視点からも実現して欲しいと思う。

子供の教育費が無料の町になれたら良いと思います。子供の多い家庭が増えていくのではないのでしょうか。

- ・茶市の茶販売を充実（店舗数の拡大）する。道の駅を露店に出店し、茶市を盛り上げる。あるいは地域から出店参加をし、町外からの客足を増す。
- ・産業まつり、ふるさとふれあいまつりの開催

6と同じ

- ・人口の減少をくい止めるための対策【再掲】
- ・移住先に選ばれるように住みやすい環境作り【再掲】

記述内容
とにかく宅地造成の為に土地の確保と、道を作る、また長崎街道を広くする。この住みやすい町をアピールできる様に受け入れができる様な準備ができればいいと思います。
スポーツクラブひがしそのぎは、レクリエーションを含めて、体育協会、文化協会加入への1ステップとして、初めての人達を中心に募集されています。これからもより多くの人に参加できるような場になればとおもっています。
若い人達（児童、学生含む）が魅力を感じる行事等を実施し、町からの転出を避ける。
まちづくりの行事や事業を目的とした人々（集団）が集まり、協議し、東彼杵町にしかない“物”を作りたい（全国で東彼杵町にしかない星を）
年1ヵ所でも地区の河川敷、駐車場等、可能な所に非常に珍しい植物（木・花）を植樹してもらい高齢の方（手入れの好きな方）に手入れをしてもらう。時期が来ると花、実がなると話題も広がり、他県等からも（マスメディア等）人が来るようになり、東彼杵町を知ってもらえる発信機会も増やせるのでは。又そうなる高齢者の方の励みにもなるのでは。
各種団体と意見交換
町外から参加者が多く参加が出来るイベントを行う 何年か前に行ったウォークラリーなどを再開したら。
大村市のベッドタウンとして、住宅地を作り、水資源を利用。売る。
よくわからない
<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒廃農地再生及び遊休農地を利用し若い人に農地で生活できる様支援する ・ 道の駅での活用
良い知恵がなかなか難しいです
このようなアンケートもいいと思いますが、直接地域の声を（出向いて）吸い上げるのもいいのでは・・・と思います。
※地域、団体、中高生などこれからも町を背負っていく人たちと。
町道の整備、拡張をおこなってほしい
移住から定住に結びつける様な人口増加方策をお願いしたい
まちづくりに限らず、様々な意見は我々のような団体や、組織にいるもの以外にはフリーランスや失業中の方、婦人会に入っておられない主婦の方等々、広く聞かれてみては。斬新な考えや提案もでてくるのでは。

東彼杵町
第6次東彼杵町総合計画策定にかかる
関係団体調査
結果報告書

発行：東彼杵町役場
〒859-3808 長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷 1850 番地 6
電話：0957-46-1111 ファックス：0957-46-0884

発行年月：令和5年4月